

侵害予防調査・無効化調査の勘どころ

日時
平成28年6月9日(木)
10:00~16:10(開場9:30)

知的財産侵害や提訴、訴訟等のニュースが毎週のように聞かれる中、「自分達の業界でも、訴訟は他人事とっていられない」「今後、権利活用の一環として、権利行使も視野に入れていきたい」といった声も増えています。

しかし、侵害予防調査の重要性を知っていても、実務では「膨大な件数を漏れなく調査しなければならない。どこまで調査すれば良いのか」という悩みが付きまといまいます。また、無効化のための調査では、多くの方がその有効な調査方法に悩みを抱えていることと思われます。

そこで本講座では、既に中級以上の特許調査の経験を有している知財・開発部門の担当者を対象に、調査の実例を示しながら、侵害予防調査では現場のヒアリングから実際の検索式作成・調査、報告書に至るまで、また無効資料調査では調査範囲探索のノウハウを中心に有力な資料を探す手法を丁寧にわかりやすく解説します。

講師: スマートワークス株式会社 代表取締役
(サーチャー、AIPE認定 知的財産アナリスト) **酒井 美里 氏**

参加料: 各1名につき(資料代・消費税込)

特別会員	普通会員・ 知財会員	特許ニュース 購読者	一 般
10,000円	15,000円	18,000円	23,000円

場 所:
銀座会議室(三丁目) 2階A室
東京都中央区銀座3-7-10 松屋アネックスビル
(東京メトロ銀座線・日比谷線銀座駅下車A12番出口
より徒歩約2分)

侵害予防調査・無効化調査の勘どころ プログラム

1. 侵害予防調査

- ・最重要ポイントは「現場でのヒアリング」と「侵害リスクの推定」
- ・部門ヒアリングのポイント
- ・侵害予防調査と無効資料調査の違い、調査上の注意点
- ・「侵害」という状態と、検索上・査読上の注意点
- ・侵害リスクの推定と検索設計
- ・検索項目の性質と扱い方（IPC、FI、Fタームとキーワード検索）
- ・見落としがちな公報査読のポイント など

2. 無効化資料調査

- ・最重要ポイントは「無効化に繋げやすい条件の把握」
- ・調査の事前準備で最初に見るべきポイント
- ・事前準備と検索対象の確定
- ・検索上での特徴（侵害予防調査との違い）
- ・調査範囲探索のオーソドックスな進め方
- ・特許庁審査段階における検索手法

※講座内容・プログラムの一部を変更・順序入れ替えする場合がございます。あらかじめ、ご了承ください。

最新のセミナー情報がご覧になれます
<http://www.chosakai.or.jp/seminar/seminar-annai.htm>

経済産業調査会 セミナー

検索



最新のセミナー情報等を発信しています。是非、フォロー＆リツイートお願いします。

「侵害予防調査・無効化調査の勘どころ」参加申込書 (H28.6.9開催)

ご所属名・部課名		電話
		FAX
ご住所 〒		
参加者		
お名前	E-mail	

お名前	E-mail	

お名前	E-mail	
備考欄		
申込先	FAX : 03-3535-4884 E-mail : seminar@chosakai.or.jp	一般財団法人 経済産業調査会 〒104-0061 東京都中央区銀座2-8-9 電話 03-3535-4881

◎お申込時にいただきました個人情報につきましては、本講座の実施、運営に利用させていただくとともに、新刊書やセミナー・講演会等の各種ご案内など当会の事業活動に限って使用させていただきます。また、本講座の講師にお客様の「所属先」、「部署名(役職名)」、「氏名」等をお知らせさせていただきます。本件に関し、不都合がございましたらご連絡ください。

◎参加をキャンセルされる場合は、研修会開催日の前々日(土日祝祭日は除く)の17:00までに、必ずメールにてご連絡ください。期限内にキャンセルのご連絡がなく、当日、欠席された場合は、テキストを送付の上、参加料を全額請求させていただきます。なお、代理出席は可能です。